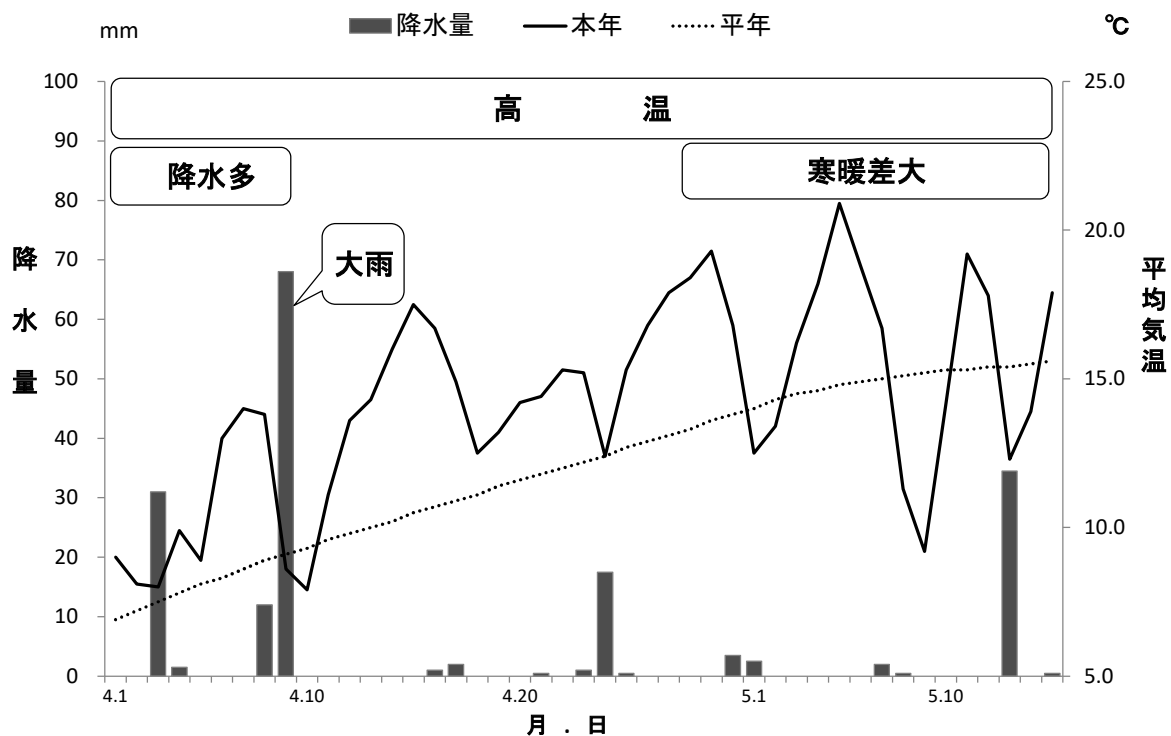


令和6年 作物技術普及情報 第9号

(麦の生育状況・成熟期予測、本田初期の水稻管理等について)

1 気象状況

令和6年 気象経過(穂高アメダス 4月1日~5月15日)



- ・ 3月末から高温が続き、5月からは寒暖差も大きくなっています。また4月中旬以降は降水量の比較的少ない状況が続いています。
- ・ 5月16日気象庁発表の1か月予想では、気温は平年より高く特に前半が高いと予想されています。

2 麦の生育状況

- 5月15日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りと思われます。生育は平年より7日程度進んでいると思われます。

【大 麦】	登熟中期
【小 麦】	開花終期 登熟初期

- 5月13日の降雨や強風の影響で、倒伏の始まった大麦圃場が目立っています。また湿害による根の生育不良と高温・強風の影響で、大麦圃場で穂が部分的に白く枯れあがった圃場も見られます。

3 麦の収穫について

- 出穂が平年よりかなり早かったため、成熟期も早まることが予想されます。積算気温による成熟期の推定をご活用いただき、コンバインや乾燥施設の稼働準備を早めに進めるようお願いいたします。
- 成熟期は麦の生育状況や今後の気象状況で前後します。湿害で根の生育の劣る圃場や極端にやせた圃場、登熟期間中に気温が高く、降雨の少ない状況が続くと、予想より成熟が早まる可能性があります。

このため、今後の生育状況にご注意いただき、収穫の目合わせの回数を増やすなど適期収穫に向けた取り組みをお願いいたします。

【参考】登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(5月15日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650~700℃、小麦は850~900℃として推定しています。

平均気温は穂高アメダス値です。5月15日までは本年値、以降は平年値を用いています。

syou	平均気温	大 麦				小 麦			
4月15日	17.5								
4月16日	16.7								
4月17日	14.9								
4月18日	12.5	4月18日出穂圃場							
4月19日	13.2		13						
4月20日	14.2		27						
4月21日	14.4		42						
4月22日	15.3		57						
4月23日	15.2		72	4月23日出穂圃場					
4月24日	12.4		85		12				
4月25日	15.3		100		28				
4月26日	16.8		117		45				
4月27日	17.9		135		62				
4月28日	18.4		153	81	4月28日出穂圃場		4月28日出穂圃場		
4月29日	19.3		172		100		19		
4月30日	16.8		189		117		36		
5月1日	12.5		202		129		49		
5月2日	13.4		215		143		62		
5月3日	16.2		231		159		78	5月3日出穂圃場	
5月4日	18.2		250		177		96		18
5月5日	20.9		270		198		117		39
5月6日	18.8		289		217		136		58
5月7日	16.7		306		234		153		75
5月8日	11.3		317		245		164		86
5月9日	9.2		326		254		173		95
5月10日	14.1		341		268		187		109
5月11日	19.2		360		287		207		128
5月12日	17.8		378		305		224		146
5月13日	12.3		390		318		237		159
5月14日	13.9		404		331		251		172
5月15日	17.9		422		349		269		190
5月26日	16.9		600		528		447		369
5月27日	17.1		617		545		464		386
5月28日	17.2		635		562		481		403
5月29日	17.4	成	652		580		499		421
5月30日	17.5	成	669		597		516		438
5月31日	17.7	成	687		615		534		456
6月1日	17.9	成	705		633		552		474
6月2日	18.0		723	成	651		570		492
6月3日	18.2		741	成	669		588		510
6月4日	18.3		760	成	687		606		528
6月5日	18.5		778	成	706		625		547
6月6日	18.6		797		724	成	644		565
6月7日	18.8		815		743	成	662		584
6月8日	18.9		834		762	成	681		603
6月9日	19.0		853		781	成	700		622
6月10日	19.1		872		800		719		641
6月11日	19.2		892		819		739		660
6月12日	19.4		911		839		758		680
6月13日	19.5		931		858		777		699
6月14日	19.6		950		878		797		719
6月15日	19.7						817		739
6月16日	19.8						837		758
6月17日	19.9						成	856	778
6月18日	20.0						成	876	798
6月19日	20.1						成	897	818
6月20日	20.2							917	839
6月21日	20.3							937	成
6月22日	20.4							957	成
6月23日	20.5							978	成
6月24日	20.6							999	920
6月25日	20.8							1019	941
6月26日	20.9							1040	962
6月27日	21.0							1061	983
6月28日	21.1							1082	1004
6月29日	21.3							1104	1025
6月30日	21.4							1125	1047

4 麦の赤かび病について

- 出穂期から2週間位の間（特に開花期間中）は、降雨期間中の気温が高く、降雨期間が長いほど感染しやすくなります。また降雨期間中の気温が低くても、降雨期間が長いほど感染リスクが高まるので注意が必要です。

- 5月15日現在、大・小麦の出穂期以降に感染リスクの高い日はありませんでしたが、現在も注意が必要な生育ステージです。

今後は、ほ場での発生状況にご注意いただき、技術情報4号でお伝えした「コムギ赤かび病の防除を徹底しましょう」等を参考に、対応をお願いいたします。

5 本田初期の水稲管理

(1) 本田初期の水管理の徹底

- 移植後は3～4cmのやや深水管理として、強風や低温による植ええいたみを防ぎ、新根が出て活着したら、2～3cmの浅水管理とする等、移植後の水管理には細心の注意をはらい、活着促進のための水管理の徹底をお願いします
- 大雨等で、水田の水深がかなり（8cm以上）深くなってしまふことがあります。水を深いままにしておくと、稲が徒長し、活着不良や分けつ遅れになる恐れがあります。

このため水深がかなり深くなった場合は、水深3～4cm程度（通常の水深）まで水を払ってください。

ただし、すでに除草剤を処理してある場合は自然に減水するのを待つか、除草剤処理日から7日経ってから水を払ってください（除草剤の水田外への流出防止を図るため、除草剤処理日から7日間は、強制的に水を払えないのでご注意ください）。

- 今後も高温傾向が予想されます。高温になると地温上昇で「ガスわき」が発生し、根傷みで分けつが抑制されたり、表層剥離が多発することも予想されます。

このためワキやすい圃場（有機物が多い圃場、4月に入ってから耕起した圃場等）は注意していただき、ワキの多い水田や表層剥離の多発した水田は軽く落水する。分けつが抑制された水田では浅水管理する・・・等、水稻の生育状況に合わせた水管理の徹底をお願いします

（2）除草剤の効果確認について

- 水管理が不十分で雑草が残ったり、再発生する場合があります。特にヒエやホタルイは葉令が進んでから気づく場合が多いです。このため除草剤処理から7日後位には、圃場状況を必ず確認するようにお願いします。残草状況によっては、中期剤の対応をお願いします。